

立命館アジア太平洋大学 第7回 学長候補者選考委員会議事録

日 時 : 2026 年 5 月 26 日 (火) 18 時 00 分～18 時 45 分

場 所 : APU 本部棟 3 階 第 5 会議室 (ZOOM 接続あり)

委 員 : 委員長 浅野 昭人 (副学長・常務理事)
委員 陳 慶昌 (アジア太平洋学部 教授)
VYAS Utpal (アジア太平洋学部 准教授)
柳 ボスル (国際経営学部 准教授)
福山 公博 (国際経営学部 准教授)
四本 幸夫 (サステイナビリティ観光学部 教授)
山根 友美 (サステイナビリティ観光学部 准教授)
JUNG Jonghee (言語教育センター 准教授)
鶴原 利泰 (教育開発・学修支援センター 准教授)
日野 智志 (立命館アジア太平洋大学事務局 次長)
寺井 俊裕 (アドミッション・オフィス (国内) 課長)
金剛 理恵 (アウトリーチ・リサーチ・オフィス 課長補佐)
武田 悟 (全学企画オフィス 課長補佐)
眞次 純一 (校友)
UWINEZA Celine (校友)
富永 有香 (校友)
Dube Tanatsiwa Christabel (在校生 特命副学長)
荒牧 順子 (APU 国内学生後援会)

選考管理委員 : 吉川 卓郎 (委員長)、ACKARADEJRUANGSRI P.、宮原 久実

事務局 : 佐間野 有希子 (立命館アジア太平洋大学事務局次長)、
山本 直樹 (全学企画オフィス 課長)、小鶴 恭子 (全学企画オフィス 職員)

※ 下線は欠席者

(委員 18 名、出席者 17 名、委員会成立)

(議事録署名人 : UWINEZA Celine、陳 慶昌)

.....
【議題】

1. 第6回委員会の議事録承認

→承認。

2. 公募状況の共有

浅野委員長より、公募状況について説明があり、書類選考について依頼があった。

(金剛) 応募者を学長に求める資質と役割それぞれの項目で A から E で評価し、
合計 10 点満点で評価する理解で良いか。選考委員全員に候補者全員の書
類選考を行ってもらい、1 位から 5 位までの順位をつけて評価の提出を
求めているという理解で良いか。

(事務局) ご確認のとおり、1 位から 5 位までの順位をつけて Forms を通じてご提
出いただきます。

- (金剛) 次回サーチ会社からの候補者も含めて最大 10 名を選ぶという理解だが、サーチ会社からの候補者が 2 名だった場合には公募から面接選考に進む候補者は 8 名という考え方で良いか。
- (浅野) 面接選考に進める候補者を 10 名にするかどうかについても次回選考委員会での議論になる。また、サーチ会社からの提案された候補者全員を面接選考に進めるということを意味していない。
- (UWINEZA) 応募者資料はすべて日英資料か。
- (浅野) 書類選考は選考委員全員が応募者全員分の資料を確認する。日英両言語で準備する。
- (鶴原) 選考委員が提出するのは Forms であり、評価シートではないという理解で良いか。
- (浅野) その通り。
- (鶴原) 1 位から 5 位まで順位をつけて Forms で提出するということが、得点が同率の場合はどのようにすべきか。
- (浅野) 4 位が 2 人いるなど合計 6 人になることについてはその方法もあり得るのではないか。
- (事務局) 同率の場合は、Forms の備考欄にその旨を記載いただければ事務局で集計する。
- (金剛) ボルダ式は順位に意味のある評価方法だと思うので、同点で同率 1 位の場合は、委員で 1 位を決め切ってから提出する方が良いのではないか。
- (福山) 同率 1 位を認めず、1 位から 5 位を決めて提出する方法が望ましいと考えられる。
- (浅野) 書類選考の結果同率の候補者がいる場合であっても、選考委員それぞれで 1 位から 5 位の順位をつけて提出する進め方で良いか。
- (浅野) 異論がないため、そのように進める。
- (事務局) 書類選考は 6 月 5 日（金）から 6 月 26 日（金）の 17 : 30 までとし、その時刻までに Forms の提出まで完了をおねがいしたい。
- (山根) 書類選考結果は記名式か。
- (浅野) Forms 提出時は記名式である。

3. サーチ会社による打診状況について

浅野委員長よりサーチ会社による候補者への打診状況について口頭で報告があった。

4. 書類選考の評価項目/選考の進め方

浅野委員長より、書類選考の評価項目および選考の進め方について説明があった。

5. 学長候補者選考委員の欠員補充について

浅野委員長より、学長候補者選考委員の欠員補充について説明があった。